

1、目指す学校像 一人ひとりの生徒を大切にせる教育

2、重点目標

1) 学校全般

○建学の精神(正・浄・和)を踏まえた「明の星教育」を中高一貫体制の中で実現する。

今年度は、昨年度まで行ってきた学園の研修を継続し、勤続10年未満の教職員が集まり、「これからの明の星のあり方を共有する」をテーマに研修を行った。

教職員が学園訓をどう捉えるかを発表し合い共通理解を深め、有意義な研修となった。

生徒は実践目標について放送朝礼やアッセンブリ(全校集会)を通して考える機会を得た。

時に自分の考えを書き表す事によって、より深く捉える事ができた。

次年度以降においても、カトリック校として中高一貫体制をより強固なものとして行く。

=達成度 A

2) 教育

○中高一貫教育の中での新教育課程、生活指導の徹底をはかる。

生徒自ら進路を自分の事として捉える事ができた。

風紀委員会を中心に、明の星の生徒として、地域の一員として、自覚を持って行動できるよう働きかける事ができた。

次年度以降においても中高一貫教育の中で進路指導のさらなる充実を図って行く。

=達成度 B

3) 広報

○明の星教育を広報する方法を確立する。

校舎建築中においても入試の出願が円滑、安全に行われるよう、郵送出願を導入し、入試業務を滞りなく行う事が出来た。

今後とも、本校の教育を望む受験生を確保する為に、本校の教育内容と結びついた広報に努めて行く。

=達成度 A

4) 財務

○新校舎建築を踏まえ財務の計画的管理を行う。

予算執行時における確認によると、ほぼ達成できた。

今後とも校舎建築の進捗を踏まえ更なる安定した財務管理に努める。

=達成度 B

達成度 A ほぼ達成 B 概ね達成 C 変化の兆し D 不十分

平成27年度 学校関係者評価

浦和明の星女子中学・高等学校

日 時 2016年3月26日(土) 10:00~12:00
場 所 学園会議室
出席者 学校関係 : 校長 高校教頭 中学教頭 事務長
正和会関係 : 清水会長 嶋谷副会長 高橋副会長

- 1) 建学の精神(正・浄・和)を踏まえ「明の星教育」を中高一貫体制の中で実現する。
- 2) 教育方針・学校行事について
 - ・教育方針についての話に一貫性があり、共感できる。
 - ・生徒たちがしっかりと学校生活を送っている。転校する生徒は少なく、皆勤賞受賞者も多い。
 - ・生徒が皆明の星を愛していると公言しており、そのような環境の中で成長している。
 - ・緑に囲まれた校内の環境もよい。校舎新築中であるが、安全が確保されており、守られている意識を持っている。
 - ・生徒がのびのびと育ち、学校生活を楽しんでいる。周囲の生徒から影響を受け勉強するようになり、また優しさも備わった。
 - ・卒業生が在学中、学校生活を楽しく過ごし、その経験から娘に受験を勧めた。娘も楽しく学校生活を送っていた。
 - ・先生方が優しく、生徒を大人として接してくれる。
- 3) 要望
 - ・高校三年生がなるべく参加できるよう、大学受験日程を考慮した、学校行事日程を組んで欲しい。
 - ・宗教の授業について、今年度はやや宗教色の強めの授業があったので、生徒も少し違和感を覚えたようだった。

平成 27 年度 浦和明の星女子中学・高等学校 第三者評価

1. 学校全般

○建学の精神(正・浄・和)を踏まえた「明の星教育」を中高一貫体制の中で実現する

今年度は明の星学園の勤続 10 年未満の職員研修を行い、「これからの明の星のあり方を共有する」をテーマに実施。学園訓をどう捉えるかを発表し合い共通理解を深める機会としている。

生徒には毎日の放送朝礼やアッセンブリ（全校集会）で実践目標について考えさせ、より深く捉えられる機会を与えている。保護者に対しても「明の星教育」の理解を深める保護者会を定期的実施しており、理事長・校長からの話に一貫性があり、共感できると、参加者の満足度が高かった。校舎工事中ではあるが、生徒の安全が確保され、守られている様子が訪問する度に伝わってくる。

2. 教育

○中高一貫教育の中での新教育課程、生徒指導の徹底をはかる

生活指導面においては、明の星の生徒として、また地域の一員として、自覚を持って行動できるよう指導している。進路指導面においては、生徒一人ひとりの希望を保護者とともにしっかり把握し、満足度の高い実績となるよう期待している。

3. 広報

○明の星教育が目指す内容を広報する。募集のために用意する全ての資料について検討する。

校舎建て替え中においても入試の出願が円滑、安全に行えるよう、郵送出願を導入し、業務が滞りなく行えている。今後も多くの私学を牽引する存在であるよう、「明の星教育」の幅広い広報が期待される。

4. 財務

○財務目標確保

財務に関しては問題無しといえる。

引き続き財務の健全化および学校経営に直結する定員確保に努め、計画的な予算編成に基づき、安定した経営を実施して欲しい。

以上